

# ○「耕作放棄地の解消と担い手対策」

京都府南山城村 高山地区連絡会議(平成30年度第1回)

担い手への  
農地利用の  
集積・集約化

遊休農地の  
発生防止・  
解消

新規参入の  
促進

その他  
(農業委員会の  
体制強化等)

## 1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 平成30年9月5日 10~12時
- 場 所: 南山城村役場 第1会議室
- 出 席 者: 委員10人、事務局1人
  
- 報 告 者: 森嶋 徹 農業会議現地推進役



## 2 地区の特徴、状況、課題

- 緩傾斜地の緑茶栽培と狭小な水田の水稲作が主流の中山間地域の農業。
- 大規模な緑茶栽培と水稲栽培を経営する専業農家が多く、小規模に水稲を栽培する兼業農家は少数派。
- 補助事業等により拡大した経営を維持できず担い手不足と後継者不足に悩む。

## 3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 水稲の獣害(猪、鹿、猿)被害により耕作者の意欲まで無くなりつつある。
- 小規模な農業だけでなく規模の大きな農家の経営が成り立たなく農業離れが進む。
- 遊休化する水田の活用で秋冬に野菜が作れば、農閑期の仕事ができる。
- 茶農家の高齢化と後継者不足・労働者が進んでいる。
- 茶は、短期集中型で仕事がつく労働に見合った収入が得られない。
- ほ場、栽培、販売等経営戦略を見直すことが必要ではないか。
- 

## 4 活動結果

- 情報・意見交換 **2** 時間
- 担い手への集積 **a** 増加
- 遊休農地面積 **a** 解消
- 新規就農者 **人** 支援